



霊性について



精神的である、あるいは、霊的であるという、言葉を私達は日頃よく耳にします。しかし、私達は、この言葉が実際何を意味し、そしてそれが、私達が生きてゆくうえでどのような影響を与えるのか理解しているのでしょうか？

私達が人に、“自分は精神的あるいは霊的である。”というとき、それは自分が唯物的な人間ではないし、また皮相・浅薄なものではないということを、知ってほしいからなのでしょう。

しかし実際には、これだけ様々な精神的・霊的なことを扱った書物が氾濫しているにもかかわらず、世の中には依然として解くことのできない、様々な心の病があふれています。

この問題にカトリックの信仰はどのような答えを与えてくれるのでしょうか？

意識して真実を認め、理解する能力である知性は、原罪によって甚だしくその力を鈍くされてしまいました。また、自分で意識して選択する意志の能力も、原罪、個人の罪、そして世の中の悪を犯す傾向によって非常に弱くされています。

霊的な生き方を成長させることによって、私達の意志を徐々に癒し、強くさせ、その結果、自己中心的でわがままな習慣から抜け出して、徳のある生活へ導くことができるのです。徳とは、たとえ私達が直接犠牲を払うような、どんな状況下でも真に何が良くて、何が正しいかを選択することのできる意志の良い習慣を持つことです。



霊性とは橋のようなものです。橋のお陰で、私達はある地点から離れた別の地点へ渡ることができます。橋の架け方にはいろいろな方法があります。ときには危険に満ちた土地の上であったり、川の上で

あったり、あるいはとても高いところにあたりします。材料もロープや木材、レンガ、石、鋼鉄などです。また、アーチ状になっていたり、吊り橋になっていたりします。このように偽りのない霊性は、どれも神への道筋をそれぞれの形で私たちに示してくれるのです。

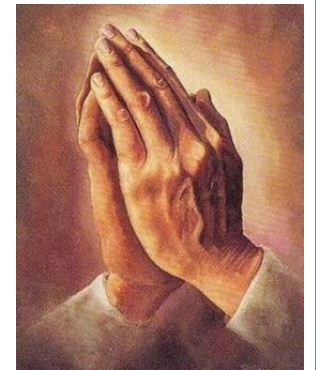




カトリックの伝統の中でよく知られている靈性は、その多くが修道会から出ています。ベネディクト修道会、フランシスコ修道会、カルメル修道会、シトー修道会、イエズス会、サレジオ会などの修道会/宣教会の靈性があります。それぞれの会は、イエズスの福音に基づき聖霊から創立者に与えられたカリスマ（賜物）を継承・発展させながら、今日も毎日の生活のうちで生きています。



一般的に靈性とは、靈魂や神などの超自然的存在との見えないつながりを信じる、または感じることに基づく、思想や実践です。また、それは私達の存在の本質を発見させるための内なる道筋であり、人が生きてゆくために必要で計り知れない価値と意味を見出させる道筋でもあります。



そして、黙想、祈り、観想など具体的な靈的・精神的実践法は、各々の内なる生命を発展させるように図られています。



内なる生命の発展とは、より広い心を持った自己認識へと導き、より偉大な現実との一体感を与える靈的体験、あるいは他の人々や人間社会との連帯感を与える体験、ひいては自然あるいは宇宙との、更には天界との一体感を与える靈的体験に導きます。

現世的には、人間としての特質である愛、あわれみ、忍耐、寛容、ゆるし、充足、責任、調和そして人への思いやりといったものを重要視します。それらは人生における経験のひとつの側面であり、それによって、必ずしも超自然的な存在あるいは神的存在への信仰を受け入れることにはなりません。

気配りとか黙想といった精神的・靈的な行為は、そのこと自体に何か御利益があり、人が生きて行くうえで、やりがいを感じるのに必要なものとされても、そこに超自然的な理解や説明は必要ありません。



現世的な、霊性とは、この宇宙の全てのものがお互いに依存しているという信念と調和のとれた考え方、感情、言葉そして行動を育むことと、言えるかもしれません。

素晴らしい音楽を聴いたり、美しい芸術作品に見入ったり、また靈感あふれる文学や詩を読んでいるとき霊的な体験をしていると言えるのです。

ここで、まず、カトリック教会でいう「霊性」について簡単に説明いたしましょう。この語は、キリストとの交わりをいかに成長させていくか、その旅路を示すものです。この旅程の最終目的地は、個人の固く、深く、絶対に欠くことのできない、ダイナミックな神との交わりにあります。この旅程を霊性と呼ぶのは、私達が霊的な能力（知性や意志）を浄化し、その能力を神の知恵と意志に結びつけることによって、創造主であり父なる神との交わりを達成することができるからです。過ちを正し、病気を癒し、心を強くして、霊的な生き方を成長させることで、神の啓示と知恵（詩編119にあるように「私達の道の光、私達の歩みを照らす灯」）の影響を徐々に増していくことができます。このようにして、私達自身、神、そしてまわりの世界を、現実そのままに、すなわち神がなさるように、よく見、理解することができるようになるのです。



ラファエル植田勝行神父の米国での住所

St. Francis de Sales Oratory

2653 Ohio Avenue

Saint Louis, Missouri 63118

王たる宣教会のホームページ<<http://icrsp-jp.org>>

Email: sfds@institute-christ-king.org